

1. 学校基本情報

令和7年度(2025年度) 大学、短期大学及び高等専門学校における 障害のある学生の修学支援に関する実態調査 (短期大学用)

1. 学校基本情報	学校コード表示欄
-----------	----------

(1) 学校名と主たる所在地

学校名	主たる所在地の都道府県名	No.

(2) 学校全体の学生数 ※該当する学生がいない場合には「0」を入力してください。

課程		令和7年度 全学生数	令和7年度 全入学者数	令和6年度 全卒業者数
本科	通学課程			
	通信課程			
専攻科				
計		0	0	0

全入学者数又は全卒業者数が0の場合、以下の当てはまる理由を選択してください。

		年から募集停止しているため、入学者はいない。
		年開学のため、卒業者はまだいない。
	その他	

(3) 調査の担当者

※担当者が異動しても連絡が取れるよう、メールアドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

担当者			所属部課室名	
氏名	フリガナ			
連絡先	郵便番号	所在地		
	電話番号	メールアドレス		

(4) 障害学生支援の担当部署(者)

※障害学生支援の担当部署がない場合は、窓口となる部署の宛先を記入してください(総務課など)。
メールアドレスはできるだけ組織アドレスを記入してください。

部課室名		担当者			
	役職		氏名	フリガナ	
連絡先	郵便番号	所在地			
	電話番号	メールアドレス			

次に、「2. 障害学生支援の体制」シートを記入してください。

2. 障害学生支援の体制

2. 障害学生支援の体制

(1) 障害者差別解消法に関する対応要領等

障害者差別解消法に関する対応要領、基本方針（ガイドライン）又は障害学生支援に関する規程等（例：入学者選抜、修学支援に関する委員会、部署、担当者等に関する規程等）について、該当する欄に「1」を記入してください。

なお、学生全般に関する規程等のうち、障害学生支援に関する具体的な記載がないものは、下記①に該当しません。

☐	①対応要領又は基本方針、規程等がある。
☐	①をホームページ等で一般に公開している。
☐	②令和7年度中に策定予定である。
☐	③対応要領又は基本方針、規程等がない。

(2) 障害学生支援に関する委員会

障害学生支援に関して協議・検討する委員会（専門委員会）について、該当する欄に「1」を記入してください。

☐	①専門委員会がある。
	委員会名
☐	②専門委員会はなく、他の委員会で障害学生支援に関して協議・検討している。
	委員会名
☐	③障害学生支援に関して検討・協議する委員会がない。

(3) 障害学生支援の担当部署（者）

[1] 障害学生支援に関する業務を所掌する部署・機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

☐	①専門部署・機関がある（障害学生支援センター、バリアフリー支援室等）。
	部署・機関名
☐	②専門部署・機関はないが他の部署・機関が対応している（学生課、保健管理施設等）。
	部署・機関名
☐	③障害学生支援業務を所掌する部署・機関がない。

2. 障害学生支援の体制

[2]障害学生支援に関する業務に従事する担当者の有無と人数を記入してください。

①専任スタッフ

（専任スタッフがいる場合、左の欄に「1」を記入し、右の欄に人数を記入してください。いない場合は、②の「C 専任の担当者がいない。」の左の欄に「1」を記入してください。）

		人数
	A 障害学生支援を担当する教員	0
	内訳 ア. 医療系の資格を有する教員	
	イ. 福祉系の資格を有する教員	
	ウ. 心理系の資格を有する教員	
	エ. その他の教員	
	B 障害学生支援を担当する職員	0
	内訳 ア. 医療系の資格を有する専門職員	
	イ. 福祉系の資格を有する専門職員	
	ウ. 心理系の資格を有する専門職員	
	エ. その他の資格を有する専門職員	
	オ. 事務系の一般職員	
合計		0

②専任スタッフの勤務形態

（上記①の専任スタッフに当てはまる勤務形態について左の欄に「1」を記入し、右の欄にそれぞれの人数を記入してください。なお、①の合計人数と②の合計人数は同数となります。）

	人数
ア. 常勤（無期雇用）	
イ. 常勤（有期雇用）	
ウ. 非常勤	
合計	0

C 専任の担当者がいない。

2. 障害学生支援の体制

③兼任スタッフ

(障害学生支援とその他の職を兼任している者がいる場合、左の欄に「1」を記入してください。)

☐	A 障害学生支援を担当する教員	
☐	内訳	ア. 医療系の資格を有する教員
☐		イ. 福祉系の資格を有する教員
☐		ウ. 心理系の資格を有する教員
☐		エ. その他の教員
☐	B 障害学生支援を担当する職員	
☐	内訳	ア. 医療系の資格を有する専門職員
☐		イ. 福祉系の資格を有する専門職員
☐		ウ. 心理系の資格を有する専門職員
☐		エ. その他の資格を有する専門職員
☐		オ. 事務系の一般職員

④外部委託

(以下に該当する者がいる場合、左の欄に「1」を記入してください。)

☐	ア. 嘱託等の契約に基づき、外部から招いている医師、カウンセラー等
☐	イ. 必要に応じて定期的に業務を委託している専門技能者(手話通訳、ノートテイク等)
☐	ウ. その他

(4) 紛争解決のための第三者組織・機関

障害学生支援に関する紛争の防止、解決等に関し、第三者的視点で調整する学内の組織・機関について、該当する欄に「1」を記入してください。

☐	①第三者的視点で調整する専門の組織・機関がある。	
☐	②他の第三者組織・機関(ハラスメント委員会等)で対応している。	組織・機関名
☐	③(2)で回答した委員会又は(3)[1]で回答した担当部署・機関と同一の組織で対応している。	
☐	④第三者的視点で調整する組織・機関がない。	

2. 障害学生支援の体制

(5) 障害学生からの学生の支援の申出窓口

障害学生からの支援の申出に対応する窓口の有無及びその周知について、該当する欄に「I」を記入してください。

① 支援の申出に対応する窓口の有無

☐

ア. 窓口がある。

☐

イ. 窓口がない。

② 支援の申出に対応する窓口の周知(①で「ア」に「I」を記入した場合に回答してください。)

☐

ア. ホームページ等で一般に周知している。

☐

イ. 特に周知していない。

(6) 支援の申出等に関する対応手順

障害学生から支援の申出、相談等があった場合の対応手順について、該当する欄に「I」を記入してください。

☐

① 対応手順を規定した文書がある。

☐

② 対応要領等に対応手順が記載されている。

☐

③ 対応手順を規定する文書がない。

2. 障害学生支援の体制

(7) 障害学生を受け入れるための施設の整備状況
 学生生活において必要となる施設の整備状況について、該当する欄に「1」を記入してください。

	学内全体に整備	現在必要な箇所に整備	部分的に整備しているが不十分	整備中又は年度内に整備予定	未整備
ア. 道路の舗装、段差の解消等					
イ. 手すり					
ウ. スロープ等					
エ. 点字ブロック、点字案内板等（屋外）					
オ. 専用駐車場					
カ. 自動扉等の出入口					
キ. エレベーター					
ク. 車椅子移動等に必要なスペースの確保					
ケ. 点字プレート等（屋内）					
コ. 聴覚障害者用の屋内信号装置					
サ. バリアフリートイレ（多目的トイレ等を含む。）					
シ. 磁気誘導ループ					

(8) 支援学生（障害学生を支援する学生）
 ノートテイク、学生サポーターといった支援学生の状況について、該当する欄に「1」を記入してください。
 支援学生数がある場合は、AとBの人数を延べ数ではなく実数で記入してください。障害学生が個人的に依頼した学生が支援している場合は、対象外です。

1) 支援学生数

①支援学生がいる。

0

人

人

A. ①のうち有償である支援学生の人数

人

B. ①のうち無償である支援学生の人数

(A及びBの人数の合計と上記①の人数と同数になります。)

具体的な支援内容（複数ある場合は、複数記入してください。）

②支援学生がいない。

次に、「3. 障害学生支援の取組」シートを記入してください。

3. 障害学生支援の取組

3. 障害学生支援の取組

以下の取組について、当てはまる欄に「I」を記入してください。

なお、内訳があるものは、それぞれ当てはまる内容の右の欄に「I」を記入し、「その他」を選択した場合は、その具体的な内容を記入してください。

(1) 研修等の実施

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | ①障害学生支援に関する教員向け研修（FD等）を実施している。 |
| ☐ | ②障害学生支援に関する職員向け研修（SD等）を実施している。 |
| ☐ | ③障害学生支援に関する学生向け研修（ノートテイク養成等）を実施している。 |
| ☐ | ④障害学生支援に関する学生向けセミナー（心のバリアフリー等）を実施している。 |
| ☐ | ⑤上記のような研修を実施していない。 |

(2) 支援情報の提供

- | | | |
|--------------------------|---|--------------------------|
| ☐ | ①支援情報をホームページで一般に公開している。 | |
| | 内訳 ア. 相談窓口 | ☐ |
| | イ. 支援の申出方法 | ☐ |
| | ウ. 支援内容決定のプロセス | ☐ |
| | エ. 具体的な授業支援等の支援内容の説明 | ☐ |
| | オ. 在籍障害学生数 | ☐ |
| | カ. 在籍支援障害学生数 | ☐ |
| | キ. キャンパスのバリアフリーマップ等の掲示 | ☐ |
| | ク. その他 | ☐ |
| ☐ | ②オープンキャンパス等、入学希望者を対象とするイベントで情報提供をしている。 | |
| ☐ | ③入学後のガイダンス等において、障害学生支援の手続などに関する規程や支援事例等を周知している。 | |
| ☐ | ④上記のような取組を実施していない。 | |

(3) キャリア教育・就職支援

- | | | |
|--------------------------|------------------------------|--------------------------|
| ☐ | ①障害学生に対するキャリア教育・就職支援を実施している。 | |
| | 内訳 ア. キャリア教育（自己理解・職業適性の把握等） | ☐ |
| | イ. 障害学生向け就職ガイダンス、セミナー等の実施 | ☐ |
| | ウ. 一般就職ガイダンス、セミナー等における配慮の実施 | ☐ |
| | エ. 障害学生向け就職先の開拓、就職活動支援 | ☐ |
| | オ. 障害学生向け求人情報の提供 | ☐ |
| | カ. 障害学生向け企業実習やインターンシップ等の利用 | ☐ |
| | キ. その他 | ☐ |
| ☐ | ②上記のような支援を実施していない。 | |

3. 障害学生支援の取組

(4) 学外機関との連携

☐

①学外機関との連携を実施している。

内訳 ア. 医療機関との連携

イ. 地方自治体との連携

ウ. 地域の相談・支援機関との連携

エ. 就労支援機関・企業等との連携

オ. 他の大学等との連携（地域の大学等間ネットワークへの参加等）

カ. その他

☐

②上記のような連携を実施していない。

(5) 発達障害・精神障害の傾向がある学生を把握するための取組

☐

①実施している。

内訳 ア. 全学生を対象に心理検査やメンタルヘルスに関するアンケートを実施している。

イ. 教職員が発達障害等の可能性に気づいた場合、障害学生支援担当部署等に相談したり、情報共有したりすることができる。

ウ. その他

☐

②実施していない。

次に、「4. 授業支援と授業以外の支援」シートを記入してください。

このシートは、必ず「調査の手引」を参照して回答してください。

	①支援障害学生が在籍している。 (①に「1」を入力した場合、表A(表A-1から表A-4まで)に記入してください。)
	②支援障害学生が在籍していない。 (②に「1」を入力した場合、表Bに記入してください。) ※表Bは、表Aの下にあります。

令和7年度に実施している支援がある場合は、表A-1に該当する支援を障害種別に「1」を記入してください。該当するものがない場合は、表A-1の「その他の授業支援」、「その他の授業以外の支援」のそれぞれの欄に「1」を記入した上で、表A-2「その他の授業支援の具体的内容」、表A-3「その他の授業以外の支援の具体的内容」に、障害種別に具体的な内容を記入してください。

表A-1

大区分			視覚障害			聴覚障害			肢体不自由			病弱	発達障害				精神障害				知的障害	重複障害	その他の障害	実施の有無	
小区分			盲	弱視	その他の視覚障害	聾	難聴	その他の聴覚障害	上肢不自由	下肢不自由	上下肢不自由		その他の肢体不自由	自閉スペクトラム症	注意欠如・多動症	限局性学習症	発達障害の重複	その他の発達障害	統合失調症等	気分障害					神経症性障害等
授業支援	講義・演習	点訳・墨訳																							0
		教材のテキストデータ化																							0
		教材の拡大																							0
		ガイドヘルプ																							0
		リーディングサービス																							0
		手話・触手話																							0
		ノートテイク・パソコンテイク																							0
		ビデオ教材字幕付け・文字起こし																							0
		補聴援助システム																							0
		パソコンの持込・使用																							0
		読み上げソフト																							0
		音声認識ソフト																							0
		ノイズキャンセリングイヤホン等																							0
		講義の録音、板書の撮影の許可																							0
		オンライン授業における情報保障等																							0
		グループワーク等の実施における配慮																							0
		実技・実習、フィールドワークにおける配慮																							0
		授業内容の代替																							0
		オンライン授業による対面授業の代替																							0
		レポート作成等の学修指導																							0
	履修登録の支援																							0	
	試験・評価	試験時間の延長																							0
		別室受験																							0
		解答方法の配慮																							0
		注意事項等の文字媒体による伝達																							0
		出席に関する配慮																							0
	環境整備	提出期限の延長																							0
		要望に応じた使用教室の配慮																							0
		要望に応じた座席の配慮																							0
		専用机・椅子・スペースの確保																							0
	その他の授業支援	チューター等の活用																							0
																									0
授業以外の支援	学生生活支援	専有スペースの確保・利用																						0	
		通学支援																						0	
		個別支援情報の収集																						0	
		情報取得の支援																						0	
		障害学生支援担当部署等による定期的な面談、相談対応																						0	
	社会的スキル指導・助言	自己管理指導																						0	
		対人関係スキル指導・相談																						0	
		日常生活支援																						0	
	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング																						0	
		医療機器・薬剤の保管等																						0	
		休憩室・治療室の確保等																						0	
		生活介助																						0	
	その他の授業以外の支援	介助者の入構・入室の許可																						0	
																								0	

4. 授業支援と授業以外の支援

表A-2 その他の授業支援の具体的内容

No.	障害大区分	障害小区分	具体的内容
1	視覚障害	盲	
2	視覚障害	弱視	
3	視覚障害	その他の視覚障害	
4	聴覚障害	聾	
5	聴覚障害	難聴	
6	聴覚障害	その他の聴覚障害	
7	肢体不自由	上肢不自由	
8	肢体不自由	下肢不自由	
9	肢体不自由	上下肢不自由	
10	肢体不自由	その他の肢体不自由	
11	病弱		
12	発達障害	自閉スペクトラム症	
13	発達障害	注意欠如・多動症	
14	発達障害	限局性学習症	
15	発達障害	発達障害の重複	
16	発達障害	その他の発達障害	
17	精神障害	統合失調症等	
18	精神障害	気分障害	
19	精神障害	神経症性障害等	
20	精神障害	摂食障害・睡眠障害等	
21	精神障害	精神障害の重複	
22	精神障害	その他の精神障害	
23	知的障害		
24	重複障害	身体障害の重複	
25	重複障害	発達障害と精神障害の重複	
26	その他の障害		

表A-3 その他の授業以外の支援の具体的内容

No.	障害大区分	障害小区分	具体的内容
1	視覚障害	盲	
2	視覚障害	弱視	
3	視覚障害	その他の視覚障害	
4	聴覚障害	聾	
5	聴覚障害	難聴	
6	聴覚障害	その他の聴覚障害	
7	肢体不自由	上肢不自由	
8	肢体不自由	下肢不自由	
9	肢体不自由	上下肢不自由	
10	肢体不自由	その他の肢体不自由	
11	病弱		
12	発達障害	自閉スペクトラム症	
13	発達障害	注意欠如・多動症	
14	発達障害	限局性学習症	
15	発達障害	発達障害の重複	
16	発達障害	その他の発達障害	
17	精神障害	統合失調症等	
18	精神障害	気分障害	
19	精神障害	神経症性障害等	
20	精神障害	摂食障害・睡眠障害等	
21	精神障害	精神障害の重複	
22	精神障害	その他の精神障害	
23	知的障害		
24	重複障害	身体障害の重複	
25	重複障害	発達障害と精神障害の重複	
26	その他の障害		

表A-4

表A-1で選択していない支援の中で、申出があれば実施可能な支援がある場合に、該当するものに「I」を記入してください。

			実施可能な支援
授業支援	1	点訳・墨訳	
	2	教材のテキストデータ化	
	3	教材の拡大	
	4	ガイドヘルプ	
	5	リーディングサービス	
	6	手話・触手話	
	7	ノートテイク・パソコンテイク	
	8	ビデオ教材字幕付け・文字起こし	
	9	補聴援助システム	
	10	パソコンの持込・使用	
	11	講義・演習	読み上げソフト
	12		音声認識ソフト
	13		ノイズキャンセリングイヤホン等
	14		講義の録音、板書の撮影の許可
	15		オンライン授業における情報保障等
	16		グループワーク等の実施における配慮
	17		実技・実習、フィールドワークにおける配慮
	18		授業内容の代替
	19		オンライン授業による対面授業の代替
	20		レポート作成等の学修指導
	21		履修登録の支援
	22	試験・評価	試験時間の延長
	23		別室受験
	24		解答方法の配慮
	25		注意事項等の文字媒体による伝達
	26		出席に関する配慮
	27		提出期限の延長
	28	環境整備	要望に応じた使用教室の配慮
	29		要望に応じた座席の配慮
	30		専用机・椅子・スペースの確保
	31		チューター等の活用
授業以外の支援	1	学生生活支援	専有スペースの確保・利用
	2		通学支援
	3		個別支援情報の収集
	4		情報取得の支援
	5		障害学生支援担当部署等による定期的な面談、相談対応
	6	社会的スキル指導・助言	自己管理指導
	7		対人関係スキル指導・相談
	8		日常生活支援
	9	保健管理・生活支援	専門家によるカウンセリング
	10		医療機器、薬剤の保管等
	11		休憩室・治療室の確保等
	12		生活介助
	13		介助者の入構・入室の許可

 該当する支援がない。

表B

申出があれば実施可能な支援がある場合に、該当するものに「I」を記入してください。

			実施可能な支援
授業支援	1	点訳・墨訳	
	2	教材のテキストデータ化	
	3	教材の拡大	
	4	ガイドヘルプ	
	5	リーディングサービス	
	6	手話・触手話	
	7	ノートテイク・パソコンテイク	
	8	ビデオ教材字幕付け・文字起こし	
	9	補聴援助システム	
	10	パソコンの持込・使用	
	11	講義・演習 読み上げソフト	
	12	音声認識ソフト	
	13	ノイズキャンセリングイヤホン等	
	14	講義の録音、板書の撮影の許可	
	15	オンライン授業における情報保障等	
	16	グループワーク等の実施における配慮	
	17	実技・実習、フィールドワークにおける配慮	
	18	授業内容の代替	
	19	オンライン授業による対面授業の代替	
	20	レポート作成等の学修指導	
	21	履修登録の支援	
	22	試験・評価 試験時間の延長	
	23	別室受験	
	24	解答方法の配慮	
	25	注意事項等の文字媒体による伝達	
	26	出席に関する配慮	
	27	提出期限の延長	
	28	環境整備 要望に応じた使用教室の配慮	
	29	要望に応じた座席の配慮	
	30	専用机・椅子・スペースの確保	
	31	チューター等の活用	
授業以外の支援	1	学生生活支援 専有スペースの確保・利用	
	2	通学支援	
	3	個別支援情報の収集	
	4	情報取得の支援	
	5	障害学生支援担当部署等による定期的な面談、相談対応	
	6	社会的スキル指導・助言 自己管理指導	
	7	対人関係スキル指導・相談	
	8	日常生活支援	
	9	保健管理・生活支援 専門家によるカウンセリング	
	10	医療機器、薬剤の保管等	
	11	休憩室・治療室の確保等	
	12	生活介助	
	13	介助者の入構・入室の許可	

☐ 該当する支援がない。

5. 入学者選抜に関する配慮

5. 入学者選抜に関する配慮

以下について当てはまる欄に「I」を記入してください。

(1) 入試要項(募集要項)における受験上の配慮に関する記載

☒ ①入試要項(募集要項)に受験上の配慮に関する記載がある。

☒ ②入試要項(募集要項)に受験上の配慮に関する記載がない。

②に「I」を記入した場合は、以下の設問に回答してください。

☐ A ホームページ等に受験上の配慮に関する記載がある。

☐ B いずれにも受験上の配慮に関する記載がない。

(2) 入学者選抜における受験上の配慮の申請や決定

①受験上の配慮申請の受付

☒ A 配慮申請を受け付けている。

☒ B 配慮申請を受け付けていない。

②受験上の配慮申請の受付期間 (①で「A」に「I」を記入した場合に、②から⑤までを回答してください。)

☐ A 随時、受け付けている。

☐ B 所定の期間内に受け付けている。

③申請書の様式

☐ A 所定の様式がある。

☐ B 所定の様式がない。

④配慮内容の決定方法(配慮内容を決定する際の規程や手順)

☐ A 定めている。

☐ B 特に定めていない。申出があった場合に個別に内容を決定している。

⑤配慮内容の決定方法の公開

☐ A 一般に公開している。

☐ B 一般に公開していない。

5. 入学者選抜に関する配慮

(3) 入学者選抜において実施可能な受験上の配慮

令和7年度入学者選抜において、受験者から申出があった場合に実施可能な受験上の配慮について、該当する欄に「1」を記入してください。

☐

A 申出があれば実施可能な配慮がある。

①出願

☐

ア.出願書類の代筆又はパソコン等による作成

②試験会場

☐

ア.要望に応じた試験室(1階、エレベーター利用、トイレ付近、空調や遮光等)の設定

☐

イ.別室の設定

☐

ウ.要望に応じた座席の指定

☐

エ.試験会場における照明器具の準備

☐

オ.試験会場への自動車での入構許可、駐車場使用許可等

☐

カ.試験会場内の移動の補助(扉の開閉、試験室やトイレへの誘導等)

③解答方法

☐

ア.試験時間の延長

☐

イ.点字による出題及び解答

☐

ウ.問題冊子や解答用紙の拡大

☐

エ.マークシートに替えて文字やチェックによる解答

☐

オ.パソコン等の利用による解答

☐

カ.問題文の読み上げ(読み上げソフト等の利用を含む。)、音声による解答

☐

キ.口述試験(口頭試問やスピーキングテスト等を含む。)での文字による解答

☐

ク.口述試験(口頭試問やスピーキングテスト等を含む。)での順番の調整等の配慮

☐

ケ.問題文への傍線やルビの付与、フォントの調整等

☐

コ.リスニングの免除又は音声聴取の方法の調整

☐

サ.オンライン入試(面接等)における文字による解答

④支援者、介助者、付添者

☐

ア.手話通訳等の配置

☐

イ.介助者、付添者の配置、同伴、入室等の許可

☐

ウ.介助者、付添者控室の提供

⑤装具、機器、物品等の使用

☐

ア.補聴器又は人工内耳の装用(コードを含む。)、補聴援助システム等の利用

☐

イ.車椅子や杖の持参使用

☐

ウ.拡大鏡等の持参使用(拡大読書器を含む。)

☐

エ.吸入器、酸素ボンベ等の持参使用

☐

オ.その他希望する装具(義手、義足、コルセット等)の持参使用

☐

カ.その他希望する用具(定規、照明器具、耳栓、帽子等)の持参使用

☐

キ.特製机・椅子の持参使用又は試験会場における準備

5. 入学者選抜に関する配慮

⑥受験時

☐
☐
☐

ア.注意事項等の文書による伝達

イ.服薬（注射を含む。）や水分補給等の許可

ウ.その他要望に応じた配慮

（面接官等への事前周知、ゆっくり話す等の配慮、監督者による受験番号等の確認、途中退室の許可、ダミーパートナー（代役受験者）の利用、オンライン入試の実施等）

⑦その他

☐

具体的な内容

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

☐

B 申出がなかったため検討していない。

☐

C 申出があっても対応していない。

次に、「6. 受験者数・入学者数等」シートを記入してください。

6. 受験者数・入学者数

相談者数、志願者数、受験者数、合格者数は延べ数を記入してください。

実際に配慮を行っていない場合は⑥の計上は不要です。

[illegible]

6. 受験者数・入学者数

(2) 入学者選抜において実施した受験上の配慮の内容

(1)で計上した受験上の配慮について、入学者選抜において実施した具体的な内容を、下記の①～⑥の各項目から選択し、該当する欄に「I」を記入してください。

①～⑥以外の配慮を実施した場合は、⑦その他に「I」を記入した上で、その下表に障害種別及び具体的内容を記入してください。

大区分		視覚障害			聴覚障害			肢体不自由				病弱	発達障害				精神障害					知的障害	重複障害		その他の障害												
小区分		盲	弱視	その他の視覚障害	聾	難聴	その他の聴覚障害	上肢不自由	下肢不自由	上下肢不自由	その他の肢体不自由		自閉スペクトラム症	注意欠如・多動症	限局性学習症	発達障害の重複	その他の発達障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害等		精神障害の重複	その他の精神障害		身体障害の重複	発達障害と精神障害の重複										
①出願	ア.出願書類の代筆又はパソコン等による作成																																				
②試験会場	ア.要望に応じた試験室（1階、エレベーター利用、トイレ付近、空調や遮光等）の設定																																				
	イ.別室の設定																																				
	ウ.要望に応じた座席の指定																																				
	エ.試験会場における照明器具の準備																																				
	オ.試験会場への自動車での入構許可、駐車場使用許可等																																				
③解答方法	カ.試験会場内の移動の補助（扉の開閉、試験室やトイレへの誘導等）																																				
	ア.試験時間の延長																																				
	イ.点字による出題及び解答																																				
	ウ.問題冊子や解答用紙の拡大																																				
	エ.マークシートに替えて文字やチェックによる解答																																				
	オ.パソコン等の利用による解答																																				
	カ.問題文の読み上げ（読み上げソフト等の利用を含む。）、音声による解答																																				
	キ.口述試験（口頭試問やスピーキングテスト等を含む。）での文字による解答																																				
	ク.口述試験（口頭試問やスピーキングテスト等を含む。）での順番の調整等の配慮																																				
	ケ.問題文への傍線やルビの付与、フォントの調整等																																				
④支援者、介助者、付添者	コ.リスニングの免除又は音声聴取の方法の調整																																				
	ア.手話通訳等の配置																																				
	イ.介助者、付添者の配置、同伴、入室等の許可																																				
⑤装具、機器、物品等の使用	ウ.介助者、付添者控室の提供																																				
	ア.補聴器又は人工内耳の装用（コードを含む。）、補聴援助システム等の利用																																				
	イ.車椅子や杖の持参使用																																				
	ウ.拡大鏡等の持参使用（拡大読書器を含む。）																																				
	エ.吸入器、酸素ボンベ等の持参使用																																				
	オ.その他希望する装具（義手、義足、コルセット等）の持参使用																																				
	カ.その他希望する用具（定規、照明器具、耳栓、帽子等）の持参使用																																				
⑥受験時	キ.特製机・椅子の持参使用又は試験会場における準備																																				
	ア.注意事項等の文書による伝達																																				
	イ.服薬（注射を含む。）や水分補給等の許可																																				
⑦その他	ウ.その他要望に応じた配慮（※）																																				

(※) 面接官等への事前周知、ゆっくり話す等の配慮、監督者による受験番号等の確認、途中退室の許可、ダミーパートナー(代役受験者)の利用、オンライン入試の実施等

6. 受験者数・入学者数

	大区分	小区分	⑦その他の具体的内容
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			
37			
38			
39			
40			
41			
42			
43			
44			
45			
46			
47			
48			
49			
50			

7. 前年度卒業生の進路

7. 前年度卒業生の進路

(1) 本科(通学課程)最高年次及び卒業障害学生数

大区分	小区分	①	②	③
		令和6年次障害学生数 現在	令和7年次障害学生数 現在	②のうち就職希望者数
視覚障害	盲			
	弱視			
	その他の視覚障害			
聴覚障害	聾			
	難聴			
	その他の聴覚障害			
肢体不自由	上肢不自由			
	下肢不自由			
	上下肢不自由			
	その他の肢体不自由			
病弱				
発達障害	自閉スペクトラム症			
	注意欠如・多動症			
	限局性学習症			
	発達障害の重複			
	その他の発達障害			
精神障害	統合失調症等			
	気分障害			
	神経症性障害等			
	摂食障害・睡眠障害等			
	精神障害の重複			
	その他の精神障害			
知的障害				
重複障害	身体障害の重複			
	発達障害と精神障害の重複			
その他の障害				
計		0	0	0

(2) 状況別卒業障害学生数

[illegible]

8. 障害学生数、支援障害学生数、合理的配慮提供学生数

(1) 本科(通学課程)の学科(専攻)別障害学生数

大区分		視覚障害			聴覚障害			肢体不自由				病弱	発達障害					精神障害					知的障害	重複障害	その他の障害	計	
小区分		盲	弱視	その他の視覚障害	聾	難聴	その他の聴覚障害	上肢不自由	下肢不自由	上下肢不自由	その他の肢体不自由		自閉スペクトラム症	注意欠如・多動症	限局性学習症	発達障害の重複	その他の発達障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害	精神障害の重複	その他の精神障害	身体障害の重複	の重複		発達障害と精神障害
本科(通学課程)全体の障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合理的配慮提供学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学科(専攻)	A. 人文	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	B. 社会	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	C. 教養	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	D. 工業	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	E. 農業	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	G. 保健	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	I. 家政	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
	J. 教育	障害学生数																									0
		支援障害学生数																									0
		合理的配慮提供学生数																									0
K. 芸術	障害学生数																									0	
	支援障害学生数																									0	
	合理的配慮提供学生数																									0	
L. その他	障害学生数																									0	
	支援障害学生数																									0	
	合理的配慮提供学生数																									0	

[▲このシートの先頭に戻る](#)

8. 障害学生数～合理的配慮提供学生数

(2) 本科(通信課程)の学科(専攻)別障害学生数

大区分		視覚障害			聴覚障害			肢体不自由				病弱	発達障害					精神障害						知的障害	重複障害		その他の障害	計
小区分		盲	弱視	その他の視覚障害	聾	難聴	その他の聴覚障害	上肢不自由	下肢不自由	上下肢不自由	その他の肢体不自由		自閉スペクトラム症	注意欠如・多動症	限局性学習症	発達障害の重複	その他の発達障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害	精神障害の重複	その他の精神障害		身体障害の重複	発達障害と精神障害の重複		
本科(通信課程)全体の障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合理的配慮提供学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
学科(専攻)	A. 人文	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	B. 社会	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	C. 教養	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	D. 工業	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	E. 農業	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	G. 保健	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	I. 家政	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	J. 教育	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	K. 芸術	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0
	L. その他	障害学生数																										0
		支援障害学生数																										0
		合理的配慮提供学生数																										0

▲このシートの先頭に戻る

(5) 専攻科の学科(専攻)別障害学生数

大区分		視覚障害			聴覚障害			肢体不自由				病弱	発達障害					精神障害						知的障害	重複障害		その他の障害	計
小区分		盲	弱視	その他の視覚障害	聾	難聴	その他の聴覚障害	上肢不自由	下肢不自由	上下肢不自由	その他の肢体不自由		自閉スペクトラム症	注意欠如・多動症	限局性学習症	発達障害の重複	その他の発達障害	統合失調症等	気分障害	神経症性障害等	摂食障害・睡眠障害	精神障害の重複	その他の精神障害		身体障害の重複	発達障害と精神障害の重複	その他の障害	
専攻科全体の障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支援障害学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合理的配慮提供学生数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
学科（専攻）	A. 人文	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	B. 社会	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	C. 教養	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	D. 工業	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	E. 農業	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	G. 保健	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	I. 家政	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
	J. 教育	障害学生数																										0
	支援障害学生数																											0
	合理的配慮提供学生数																											0
K. 芸術	障害学生数																										0	
支援障害学生数																											0	
合理的配慮提供学生数																											0	
L. その他	障害学生数																										0	
支援障害学生数																											0	
合理的配慮提供学生数																											0	

▲このシートの先頭に戻る

9. 精神障害(その他の精神障害)の内訳

9. 精神障害(その他の精神障害)の内訳

シート「8.障害学生数～合理的配慮提供学生数」の、「精神障害」の小区分「その他の精神障害」に該当する学生について内訳を記載してください。

「(内訳)診断名」欄に記入すると、右側の<障害区分確認欄>に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。

障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳(診断名)を記入してください。

	学部等	学科(専攻)	内訳(診断名)	ア	イ	ウ	現況
				障害 学生数	アのうち 支援障 害学生 数	イのうち 合理的 配慮提供 学生数	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

10. その他の障害の内訳

10. その他の障害の内訳

シート「8.障害学生数～合理的配慮提供学生数」の、大区分「その他の障害」に該当する学生について内訳を記載してください。
内訳（診断名）欄に、診断名を記入すると、右側の＜障害区分確認欄＞に、その診断名の障害区分と記入が必要なシート名が表示されます。

障害区分が表示されず、「診断名検索」シートのオートフィルターで部分検索してもヒットしない場合は、「その他の障害」に区分し、シート10に内訳（診断名）を記入してください。

※1人の学生に複数の診断名がある場合は主たる診断名で区分してください。いずれが主とは言えず重複している場合は、1つずつ入力して障害区分を確認した後、内訳（診断名）欄には、複数の診断名を同一行に記入してください。

《複数の診断名があり、障害区分がまたがる場合の区分の仕方》

・「その他の障害」と、それ以外の障害に該当する診断名がある→「その他の障害」以外の障害区分

	学部等	学科（専攻）	内訳（診断名）	ア	イ	ウ	現況
				障害 学生数	アのうち 支援障 害学生 数	イのうち 合理的 配慮提供 学生数	
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							

11. 意見、要望

11. 意見、要望

(1) 障害学生支援について課題と感じていることや困っていることを記述してください。

(2) 障害学生の進路、キャリア教育・就職支援等について課題と感じていることを記述してください。

(3) 日本学生支援機構の障害学生支援の取組について意見、要望を自由に記述してください。